



# ふたし 議会だより

## 毎日にぎやか みさとの大家族

亀谷さん一家(野中)  
〔詳細は23ページ〕

2 ページ こうこく こころざし 佐々木毅「鴻鵠の志」基金を創設

5 ページ 第16回住民と議会との懇談会

12 ページ 一般質問に6議員が登壇

定例会概要	2
議長あいさつ	3
住民と議会との懇談会	5
所管事務調査	9
一般質問	12
研修報告	19
キラリ美郷	24

# 佐々木 毅

## 「鴻鵠の志」基金を創設



「鴻鵠の志」とは…  
この言葉は、雇われ農夫から王位に就いた陳勝の「燕雀安んぞ鴻鵠の志を知らんや」という一節に由来します。大人物が抱くような志を育てほしいという願いを込めて、基金の名称としました。

佐々木毅記念館にて

12月定例会を、12月4日から13日までの10日間の会期で開きました。審議した内容は、人事案件1件、一般会計補正予算など議案12件。その全てを原案の通り同意・可決しました。陳情は5件を採択し意見書に関係機関に提出、1件は趣旨採択としました。

**今** 定例会では、美郷大氏からの寄付金500万円の使用を明確にして継続的な教育の充実を図るため、佐々木毅「鴻鵠の志」育成基金条例を制定しました。

また、六郷まちづくり(株)から譲り受けた名水市場湧太郎の設置及び管理に関する条例を制定しました。

**補** 正予算では、タイ文化交流派遣事業として旅費および補助金の205万円を追加しました。これは2月13日から5日間の日程で、秋田空港から発着するチャーター便

を使ってタイを訪問し交流を深める事業です。その他、起業支援者へ324万円、正規雇用者育成支援事業費補助金を1社4名分120万円、生薬の里機械設備購入費用121万円など、歳入・歳出それぞれに1億4309万2千円を追加し、補正後の一般会計予算総額を118億9049万4千円としました。

### 条例・補正予算審議

#### 佐々木毅「鴻鵠の志」育成基金条例の制定

**熊谷(隆)議員** 佐々木先生からの寄付金を元に条例を定めて管理していくことは、大変素晴らしいことだ。町にはふるさと納税を原資とした教育に関する基金もあるが、他の方々からこういう寄付の申し出があった場合はどのようにするのか。

**町長** 美郷大使としてこれまで町の様々な取り組みにご示唆ご指導頂いた方からの寄付なので育成基金を作ることとした。他の方々からの寄付金を原資とした基金を作ることとは考えていない。

**細井議員** 事業計画では児童生徒の高い志の育成や向上心を支援するところがあるが、具体的な内容は、**教育推進課長** 内容は今後検討を重ねていく。児童生徒が自らの将来に向かって高い目標を設定し取り組んだりすることを支援できるような内容としたい。

### ごあいさつ



美郷町議会議長

澁谷 俊二

平成最後の年を迎え、一抹の寂しさを感じます。天皇陛下の退位の日が、4月30日と決定されました。

新天皇に即位され、新たな幕開けとなります。

昨年、天皇陛下85歳の誕生日を祝う一般参賀が皇居で行われました。これに先立つ記念会見で「天皇としての旅を終えようとしている今、象徴としての私の立場を受け入れ、支え続けてくれた多くの国民に衷心より感謝する」と述べられました。そして、皇后様には「深い信頼のもと、共に旅を続け、考えを理解し、立場と務めを支えてくれた。皇室と国民の双方への献身を真心を持って果たしてきたことを心から労いたい」と涙声で語ったそうです。

このことを知り、陛下の慈愛の深さに心から感動を覚えました。今年5月1日には、皇太子殿下が

元号が変わるこの年が、平穏な一年となりますようご祈念申し上げます。

観光と物産に関する新会社に関連して

新会社設立（六郷まちづくり株、株道の駅雁の里せんなん、美郷温泉振興株、美郷町観光協会が統合）のため

の出資金として6600万円、六郷まちづくり株等の株式購入費として2600万円を一般会計に追加し、「湧太郎」の管理等に関する条例を制定する。

泉議員 黒字化を目指して新しい会社を設立するようだが、町民の間からは不安の声も聞いている。具体的な改善計画は。

商工観光交流課長 現在、六郷まちづくり株と株道の駅雁の里せんなんは赤字である。美郷温泉振興株は住民福祉の観点から入湯料を据置き公費による支援

を実施している。これまで各会社単体にはなかった企画営業部門を作り、町内産品の開発・販売を積極的にを行い、町内経済の活性化に繋げたい。

泉議員 「湧太郎」は、町民が気軽に利用できるように様々な考えを反映できる施設にしていくことが大事ではないか。

商工観光交流課長 町民が気軽に集えるという機能は当然備えていかなければいけない。町民の意見をきちんと受け止め、それを解決することによってその組織としてのサービス能力が向上していく。

熊谷(良)議員 町が積極的に関与することは、民業圧迫にならないか。商工観光交流課長 町内産品を利用した食材の提供、商品開発をし

て町内経済を循環させたい。ことさら民間の方々と競合させるといふことは考えていない。

熊谷(良)議員 「湧太郎」の指定管理者の公募では、民間参入を促す考えはあるのか。商工観光交流課長 これまで指定管理者の選考にあたっては、施設を最も効率良く活用できる団体ということでも過去に実績のある団体を指名してきた。今後

もこの方向性を重視して対応していく。

熊谷(良)議員 行政から補助金を受けている団体が町の建物を管理することに甘えが生じないか。商工観光交流課長 選

定された指定管理者に対してきちんと指導監督していく。

# 皆さんのご意見に お答えします

## 「住民に身近な議会」を目指して 第16回 住民と 議会との懇談会



10月24日から26日にかけて、「住民と議会との懇談会」を8会場で開催しました。69人の参加をいただき活発な意見交換をしました。今回で、町内にある118行政区すべてで開催されたこととなります。

「議員の回答」は、その場で伝えた内容です。「町からの回答」は、懇談会終了後に全議員が集まり、町に対する意見や要望を整理して提出し、回答を得た内容です。

以下、内容を要約してお伝えします。



上森沢・下森沢行政区の懇談会

### 議会への意見・要望

**住民** 消費税増税に反対だが、議会が「消費税増税10%引き上げ中止を求める陳情」を不採択とした理由は何か。  
**議員** 採択とする意見もあったが、増税はすでに国が決めたことであり、財源の使い道も示されていることから、議会の立場としてはこの陳情を不採択とした。

**住民** 行政視察研修のテーマや行先はどのように決められるのか。また、経費負担はどうなっているのか。  
**議員** テーマと行先は、委員会ごとに出した案を議会運営委員会で調整して決める。経費については、町からの補助が上限一人あたり5万円となっている。

### タイ文化交流派遣事業

**深沢(義)議員** 募集計画はどうなっているか。応募者が多い場合はどうするのか。  
**生涯学習課長** 周知については町広報に掲載し、タイ王国フアンクラブ「プーアン」など関係機関にダイレクトメールを送る。

受け入れ側の負担や現地での配車などを考慮して先着16名の募集とした。

**住民** 議会だよりは文字が大きくなり読みやすくなったと感じているが、議長が出席した内外の会議なども報告すればよいと思う。お知らせ版には、本会議だけでなく委員会などの案内も載せてほしい。  
**議員** 貴重なご意見として受け止め、広報委員会として今後の議会報づくりに生かしていきたい。

**住民** 議員定数を2名減らしたが、議会活動に影響はないか。  
**議員** 委員会の構成が6名から5名となり、若干少ない感じはするが特に影響はない。改めて若手議員が加わり、意見の幅が広がった。  
**住民** 全国各地で議員のなり手が不足し問題となっているが、何か話し合っているのか。  
**議員** 農協青年部や商

工芸青年部と懇談会を開催することで、議会の活動を理解してもらい、議員になり頑張ってみようという意欲を持ってもらいたいと考えている。

**住民** おばこ農協の巨額の赤字や未収金の問題は、地域に強い衝撃と不安を与えた。議会として何らかの形で働きかけることはないか。  
**議員** 今のところそのような話はないが、地域農業や農家に与えた

町への意見・要望

議員の回答

影響は大きいので、先行きを注視していく。

**住民** 秋田市がイメージアシアの候補地に挙がり、県民として今後どうなるか心配だ。議会として何か対応するのか。  
**議員** 秋田市だけの問題ではないと認識しているが、難しい問題だ。陳情があれば審議し対応する。

**住民** 道路除雪で休止する区間があるということだが、その理由は、また、詳しく周知しているのか。  
**議員** 町は、午前7時に除雪を完了させることを目的に、除雪路線の全体的な見直しを行い、除雪路線休止（案）を選定した。関係する行政区の意見を聞き、44の区間で除雪を休止することとした。広報美郷に掲載し、休止する区間には看板を設置してお知らせしている。詳しくは建設課に問い合わせしてほしい。

してもらおうことが原則だが、周辺に危険が及ぶ場合は、町に相談してほしい。

**住民** 防災行政無線による竜巻注意情報は、夜に流されると眠れなくなる。改善できないか。  
**議員** 竜巻注意情報はJアラートで運用されていて、町では手を加えられないシステムになっている。以前は全県一斉の放送だったが、今は沿岸と内陸に分かれており、放送の頻度は少なくなった。



谷地中(金沢)・森先行政区の懇談会

放棄地が出ないように引き受けてくれる組織を作ってもらえればありがたい。議員研修で見てきた中で良い案があれば教えてほしい。

仕組みは考えられるかもしれない。やり方次第では、担い手は若い人でなくてもよいと思う。

**議員** 島根県美郷町には、町で購入した農業機械を農業法人などに貸し出す仕組みがあった。地域で機械を共有して有効に使っていく

**住民** 空き家の敷地内が雑然としている。行政で対応できないものか。  
**議員** 所有者から対応



除雪休止区間に設置

町からの回答

**住民** 仙南百目木地内の町道に段差があつて危険なので解消してほしい。

**町** 町道の通行に支障のある段差については調査の上、対応する。

雑木が茂っており伐採してほしい。

**町** 河川管理者である県に要望しているが、要望箇所が広範囲であるため、計画的に伐採してもらえよう重ねて要望していく。

**住民** トウモロコシがタヌキの害にあつた小動物の忌避剤を使用したけど、効果は一時的



「清水の館」トイレを確認

だった。他に良い方法はないか。

**町** 忌避剤のほかに、金網やトタンなどの柵を設置することが自衛策として有効。農作物への被害が確認されたら対応を検討するので、農政課へ相談してほしい。



出川の雑木を現地確認

**住民** 基盤整備事業によりパイプライン施設が整備されたため、火災時に農業用排水からの水利が期待できない。

**住民** 観光案内休憩所「清水の館」のトイレは、湿気がありドアも傷んでいる、改修して

もらいたい。  
**町** 利用者に不快感を与えないように、対応を検討していく。

**住民** あつたか山温泉には、シャンプー等を置く「かご置き場」がなく不便なので、設置してほしい。

**町** 指定管理者である

美郷温泉振興(株)に対応させる。  
(町からの回答を得てもなく、洗面用具置き場が設置されました)



あつたか山温泉「洗面用具置き場」

27項目  
68件の

ご意見  
ありがとうございました



# 所管事務調査

総務・教育民生・産業建設の3常任委員会は11月に所管事務調査を実施しました。その内容をお伝えします。(総務常任委員会)

## 「社会資本の整備を」

調査内容 地方債の状況と償還計画

① 地方債の残高は、平成16年度末の165億円から、平成29年度末の93億円にまで減少しました。償還金の7割が交付税で充当される条件の良い起債を活用しています。今後の償還金額についてシミュレーションしたところ、一般会計は毎年約11億円前後で推移すると算出されました。基礎的な財政収支のバランスは保たれ、実質公債比率は4%台で推移する見込みです。

有利な起債を使って、社会資本の整備などを積極的に進めてほしいと考えます。

(企画財政課・30/11/9・総務常任委員会)

## 「滞納解消に一層の努力を」

調査内容 税務における滞納状況

① 平成30年度の各町税、国民健康保険税、後期高齢者保険料の滞納状況を、前年同期と比較しました。滞納繰越分の収納率は概ね改善していますが、現年度課税分については軽自動車税を除いて下回っており、固定資産税は2.27ポイント低下しています。

滞納の対策は？

② 催告状の送付をしています。一斉臨戸徴収も引き続き行います。

今後も努力を続けてください。

③ 軽自動車の廃車は手続きが要らないと思っている人もいるため、詳しく説明しています。国民健康保険税については、いろんなタイミングで納税相談を実施しています。

町民への啓蒙活動に力を入れて、必要な諸手続きが漏れなく行われるようにしてください。納税相談も積極的に行ってください。

(税務課・30/11/9・総務常任委員会)

## 「ルールは必要だが、使いやすく」

調査内容 補助金交付の現状

① 平成31年4月1日の施行に向けて「美郷町補助金等交付基準」の内容を整備中です。

交付の基準が交付適正化委員会の判断にゆだねられる点が多いため、それらを整理して明文化するようにしてください。ルールは必要ですが、使い勝手の良いものであるべきです。

(企画財政課・30/11/9・総務常任委員会)

① : 役場    ② : 議員

# なんとなつたべな？

## 追跡レポート Vol.9

「住民と議会との懇談会」で提案された意見や要望が、まちづくりにどう活かされたかを追跡レポートします。

### 子どもたちに安全な通学路を



「なだれ防止のガードレールを設置しました」

住民 一丈木公園には「なだれ注意」の看板が立てられているが、通学路でもあり危険な場所を歩かせるのは心配だ。対応をお願いしたい。

平成28年の「住民と議会との懇談会」より



グリーンベルトを設置しました

住民 旭町から六郷小学校への通学路に白線やグリーンベルトを設置して、子どもたちの安全を確保してほしい。

平成28年の「住民と議会との懇談会」より

### 「耐震化率の向上を」

調査内容 上下水道の耐震化の現状と整備計画

町内には農業集落排水施設が6つあり、六郷地区の中心部には下水道が整備されています。建物は全て耐震要件を満たしていますが、管路は全て塩化ビニール管等を使っているため地震に対する備えが十分とは言えません。

なるほど。上水道はどうですか？

上水道についても、管路の約7割には塩化ビニール管等を使っており、地震があった場合は、漏水等の被害がでる可能性があります。

耐震化率が低いので非常に心配です。布設後40年経過しないと国の補助事業にはならないそうですが、計画的で着実な整備を望みます。

(建設課・30/11/7・産業建設常任委員会)

### 「稲作に代わる作物も示して」

調査内容 美郷町農業の現状と取組み

ここ数年、認定農業者数は550人前後で推移しています。担い手に対する支援策は、ソフトとハードの両面、様々なメニューがあります。

担い手不足への対応は、町が先頭に立って取り組んでほしいテーマです。

今年で6年目を迎えた生薬の栽培は、キキョウを中心に、カンゾウ・エイジツ・センブリの4品目をメインに栽培しています。11月に生薬生産農家の組合を設立し、本格栽培に向けた体制を整えていく計画です。

稲作に代わって全町的に取り組める作物を探してください。他の担い手の栽培事例を紹介するなど、具体的なイメージが湧けば新規就農者も増えるはずですよ。

(農政課・30/11/7・産業建設常任委員会)

### 「商店街の人に事業の説明と周知を」

調査内容 まちなかエリア活性化事業

六郷地区の商店街ににぎわいを作り、商業の活性化を図ります。美郷町全域に経済的な効果が及ぶことを目指しています。

事業のポイントは？

まずは個店と商店街の魅力向上、続いて商店街への新たな機能の付加です。旧湯川洋品店の再生など、空き家と空き店舗の活用に関しては、物件の発掘紹介といった踏み込んだ活動もしています。

事業にはビジョンを持って取り組んでください。経済効果は生まれていますか。

6月に読売旅行の食べ歩きツアー客423名を迎えました。事業者の中には「まちなかエリア活性化促進事業補助金」を活用して事業を始める人も出てきました。

事業の推進には強いリーダーシップを持った人が必要なので、人材の育成にも力を入れてください。

商店街の使い勝手を良くする取り組みも進めています。今年度はベンチ8台を設置しました。買い物支援バスの試験運行も計画中です。

商店街の人たちへの説明と周知に力を入れて、協力者を増やしていってください。



商店街のベンチ

(商工観光交流課・30/11/7・産業建設常任委員会)

### 「多くの生徒に交流の機会を」

調査内容 中学生のタイとの相互訪問交流

平成30年2月、美郷町教育委員会はタイ王国ノンタブリー県第1地区初等教育局と教育交流協定を締結しました。8月15日から20日まで、美郷中学校の生徒10名と教員3名、教育委員会から1名がタイ王国を訪問しました。8月26日から31日は、タイの中学生も美郷町を訪問しています。異文化についての理解を深め国際感覚を身に着けるとともに、コミュニケーション力や語学力の向上も目指しています。

成果の大きい事業だったと感じます。今後もぜひ継続してください。

(教育推進課・30/11/6・教育民生常任委員会)

### 「エアコンの早急な設置を」

調査内容 小中学校のエアコン設置状況と計画

エアコン設置工事を計画している教室は、美郷中学校33カ所、千畑小学校22カ所、六郷小学校22カ所、仙南小学校20カ所となっています。

エアコンは早急に設置すべきです。工事を計画的に進めて、授業に影響が出ないようにしてください。

(教育総務課・30/11/6・教育民生常任委員会)



(産業建設常任委員会)

### 「支援の充実を」

調査内容 芸術文化協会・体育協会加盟団体の活動内容と町の支援

美郷町芸術文化協会は、平成17年4月に設立されました。現在は49団体が加盟しており、会員数は593名です。協会の事業としては、芸能発表会の開催、美郷フェスタでの展示、芸文協だよりの発行、芸術文化賞授与式の開催などを行っています。

少ない会員数で同じような活動をしている団体が散見されます。充実した活動のため、団体組織の見直しをする必要があると考えます。

美郷町体育協会は、平成16年12月に設立されました。現在は18団体が加盟しており、会員数は427名です。協会の事業としては、スポーツ賞授与式(5月と2月)と町民スポーツ大会(14種目)の開催があります。

新団体の設立を容易にする支援があれば良いでしょう。芸術文化協会にも言えますが、会員を減少させず、充実した活動が続けられるような支援が必要です。



スポーツ賞授与式

(生涯学習課・30/11/6・教育民生常任委員会)



(教育民生常任委員会)



# 6議員が 12項目を 質す

## 質問者

- 深澤 均 議員**  
 ◇減反政策廃止について  
 ◇水道行政について  
 ◇空き家対策特別措置法と町の取組みについて
- 小原 正彦 議員**  
 ◇小規模農業者への支援拡充を  
 ◇児童生徒の通学時の安全対策について  
 ◇健全財政を堅持しつつ社会資本の整備を
- 泉 美和子 議員**  
 ◇上水道整備について  
 ◇福祉灯油の実施を
- 内田 清文 議員**  
 ◇職員の接遇マナー向上について
- 熊谷 隆一 議員**  
 ◇新たな森林管理制度への町の取組みについて
- 鈴木 正洋 議員**  
 ◇2020東京パラリンピックへの当町の対応について  
 ◇介護支援ボランティア制度の導入について

### 一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。

12月12日の本会議において、6議員が12項目について一般質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

# 減反政策廃止への対応は

## 町長 需要を生産に反映させていくべき



深澤 均 議員

**議員** 減反政策廃止初年度を振り返って聞く。

①町内の方針作成者それぞれの平成30年産水稲作付方針は。

②その結果、町としての作付け状況は。

③行政から見た今後の課題は。

**町長** ①「JA秋田おぼこ」は、非主食米への取り組みも視野に入れた生産者への作付け意向調査を行い、実需者の要望数量を加味した作付け数量を提示する。「JA秋田ふるさと」は、卸や実需者からの供給増の要望に対応した作付けを進める。また、「町内の集荷業者」は需要量を把握し、契約生産者に対して制度ごとの作付け数量の通知を行うとしている。

②主食用水稲作付面積は3585haで、前年比4・9%増となっており、生産の目安に對して7・4%増となっている。

③秋田県農業再生協議会では、それぞれの集荷団体・業者が早期の確実な事前計画を推進し、確かな需要を見極めて生産に反映させていくことが重要と述べており、私もそのように思う。

## 水道行政

**議員** 生活水としての地下水と水道水について聞く。

①六郷における地下水位の現状認識は。

②今後の水道事業は。

③水道未普及地域への対応は。

④防火水道管からの水道利用は可能か。

**町長** ①中央行政センター前の地下水位計で水位低下傾向は見られないが、地域や季節によつては安定しないと認識している。

②今後も水道事業を維持継続していくには、人口減少による収入減少を見据えながら、新規加入や使用料の値上げによる収入増加と安心安全を担保しながらの支出削減が求められる。

## 空き家対策

**議員** ①町内に危険空き家と判断される空き家等はあるか。

②本堂城回地区の危険空き家に対する町の取り組みは。

③空き家に隣接している農地の活用は。

**町長** ①空き家等は255件、そのうち危険空き家は13件。



出荷を待つ米

# 水道未普及地域に上水道の整備を

## 町長 31年度にアンケート調査を実施



いづみ みわこ 議員

**議員** 先のアンケート調査では、六郷地区で水道を必要と答えた世帯は32%だったが、それから年数も経過しており状況が変化している。再度、丁寧なアンケート調査を実施するよう求める。

また水が出ずにボーリングをせざる得ない世帯に対して費用の補助制度などの支援策を講ずるべきと考えるが見解を聞く。

**町長** 事業着手のためには地域全体の70%以上の賛同が必要であるという前提で平成22年度にアンケート調査を実施したところ、事業化は困難であるという

**議員** 結論に至った。町の水道会計が特別会計から企業会計に移行し、より収支のバランスが求められる中、現時点での事業着手は考えていない。

前回のアンケート調査の後、住民意識やニーズが変化してきている可能性もあるので、六郷地区の水道未普及地域において31年度にアンケート調査を実施したいと考えている。また、そのため現段階ではボーリング費用に対する助成は考えていない。



六郷地区にある地下水位計

**議員** 暖房に欠かせない灯油価格の上昇は、とりわけ低所得者にとって生活への影響が甚大で早急な対策が必要である。福祉灯油の実施を求めるが、町長の見解を聞く。

**町長** 前回行った福祉灯油は、国や県の助成を受けて全体的対応に沿って実施されたものだ。現在、隣接市や県では独自の助成は検討していない。灯油使用量も例年に比べて著しく多くなるとはいえない。従って当町でも、現時点で助成を実施することは考えていない。

### 問 福祉灯油の実施を

# 小規模農業者への支援拡充を

## 町長 町単独の営農継続支援事業を実施



おばら まさひこ 議員

**議員** 自立した農業経営のための規模拡大は避けられないと思われるが、小規模農家や兼業農家の離農が加速すると、人口減少につながる危険がある。営農継続支援事業などで助成を図っていることは評価するが、高齢化社会を迎えて「60歳未満」という年齢要件は緩和すべきと考える。

さらには、AIやドローンなどを活用したスマート農業の推進、6次産業化推進の設備などを共有するための公社を、町が主体となつて設立すべきではないか。

**町長** 今年度より町単独で営農継続支援事業を実施している。営農を継続することで人口流出に歯止めがかかり、結果として地域コミュニティ機能の維持につながるかと考える。

年齢要件については、各種の条件を勘案しており、現行の要件を維持したいと考える。公社設立に関しては、農業団体が主体的に行動するとき対応を検討する。

**議員** ①下校時の安全教育を今一度徹底すべきではないか。

②六郷小学校グラウンド北側の土手は危険なので、土手を撤去してガードパイプにすべきではないか。

③道路の外側線の設置工事について、通学路だけでも春の交通安全運動期間前に実施すべきではないか。

**教育長** ①下校時の安全教育については、保護者や、地域の皆様と連携して継続的に取り組んでいく。

②六郷小学校グラウンド北側の土手については、総合的に考え、現時点では撤去しない方向で安全指導に取り組んでいく。

**町長** ③外側線の設置

### 問 通学時の安全対策



六郷小学校グラウンドの土手

工事は、道路の補修工事後に行っている。逆だと無駄な経費が発生する。児童生徒の安全に関しては、交通安全部署との意見交換を続けていく。

### 問 社会資本の整備を

**議員** 低金利時代の今だからこそ「償還元金以上の起債の借り入れはしない」という考えを改め、低利の起債で社会資本整備事業を積極的にを行うことを提案する。

**町長** 「年度間の財源負担調整」や「世代間の負担公平性確保」といった、バランスを考慮する必要がある。また、将来対応が必要となる上下水道や公共施設の大規模改修に備えるため、財政悪化は避けるべきと考える。

# 森林管理制度への取り組みは

## 町長 経営に適さない森林は町で管理



くまがい りゅういち 議員 熊谷 隆一

議員 平成36年から新たに森林環境税が課せられることになり、平成31年度からは森林環境譲与税（仮称）が交付される予定だ。国有林や町有林以外の手入れの行き届いていない森林の管理を市町村が担うことになるようだが、その取り組みについて聞く。

①町の山林面積（国有林、町有林、民有林）と管理の状況は。  
②新たな管理制度における譲与税交付予定額と事業への取り組みは。

町長 平成31年4月から始まる新たな森林管理システムは、森林の適切な経営と管理の確保を図るため、市町村が仲介役となり、森林所有者と意欲と能力のある林業経営者とをつなぐというものである。

町長 平成31年4月から始まる新たな森林管

①町の森林面積は7183haで、総土地面積16834haのうち42・7%を占めている。内訳は国有林が4119ha、県有林が22ha、町有林が508ha、私有林が2534haとなっている。国有林は全て秋田森林管理署で管理されており、町有林と私有林のうち1397haは森林経営計画に基づき下刈り、除伐、間伐、主伐、造林などが主に森林組合によって適切に管理されている。また、県有林については広葉樹林であることから、森林管理の対象外となっている。

②森林環境譲与税（仮称）の譲与額は、県の試算によれば、平成31年度から33年度までは年360万円とされ、その後段階的に増額されて、最終的には平成45年度から年1245万円となる見込みだ。

事業への取り組みについては、平成31年度は年度調査区域の区割りを定めるとともに、それに応じた意向調査を順次実施することにしている。次年度以降は、意向調査を継続しながら、町で経営を委託する森林については林業経営に適した森林を意欲と能力のある経営者に再委託すること



杉の集材作業中

を検討し、林業経営に適さない森林は町で管理するなど、適切に取り組んでいく。

# 職員の接遇マナー向上を

## 町長 各般の接遇研修を実施



うちだ きよふみ 議員 内田 清文

議員 以前、総合案内の設置について質問した際、「来庁者の気持ちに立った対応を心がける」との答弁を頂いた。しかし、人は意識を変えようとや、心がけを変えて行動に表すことは、なかなか難しいものである。

美郷町の職員一人ひとりが、役場の顔として住民サービスを提供して欲しいと考えて提案する。

町長 町の職員は、正規職員、臨時職員を問わず、各般の接遇研修を受講し、意識とスキルの向上に努めてきた。さらに、住民生活課戸籍年金班においては、平成29年度より窓口アンケートを行っていた。窓口対応の満足度を5段階で評価しており、

町長 町の職員は、正規職員、臨時職員を問わず、各般の接遇研修を受講し、意識とスキルの向上に努めてきた。さらに、住民生活課戸籍年金班においては、平成29年度より窓口アンケートを行っていた。窓口対応の満足度を5段階で評価しており、

まずまずではないかと思っている。議員提案の接遇マナーマニュアルについては、平成29年1月に「美郷町職員のための接遇マニュアル」として作成しており、新規採用職員を対象にした接遇マナー研修のテキストとして活用している。今後は全職員に本マニュアルを踏まえた対応を改めて指示し、内容の見直しなども図っていききたい。

町としては、職員一人ひとりの接遇意識と接遇マナーをさらに向上させ、住民サービス提供時の質を高めたいと思っている。



接遇マナーについて研修中

# 介護支援ボランティア制度の導入を

**町長** 現時点では実施しない



すずき まさひろ  
鈴木 正洋 議員

**議員** 介護支援ボランティア制度は、高齢者が介護施設などの軽作業に取り組みることにより、自身の介護予防となり介護保険料が引き下げられ、介護職員の負担軽減にもなるという多面的な効果が得られる有償ボランティアの制度である。特別な技能を持たず、集団に属していない個人にも社会貢献ができる優れた制度だと考える。

**町長** 介護支援ボランティア制度は秋田市など県内3市2町で実施されており、活動で得たポイントは現金や商品券で支給し、地域活性化につなげているところもある。

事業の財源としては、地域支援事業交付金が充てられている。町ではこの交付金を活用し、短期集中通所型サービスや地域介護予防教室、健康積立講座、転倒予防教室の開催、認知症サポーターの養成、介護用品支給や配食サービスの実施、介護と医療が連携した多職種研修会などを行っている。

**議員** 町は東京オリンピックでタイ王国バトミントン選手の事前合宿地に決まっているが、パラリンピックについても何らかの関わりを持つことができないかと考える。

**町長** オリンピックからパラリンピックの開会までの期間は、非常に短く、直接的な関わりは難しい。

パラリンピックには、

一の高校であり、31年度からはコミュニティスクールとして地域連携を深めた教育を実践していく学校である。

東京パラリンピックへの町の対応について聞く。

できる範囲で関わっていきこととし、パブリック・ビューイング（左写真）などで応援していくような対応を検討する。



リオデジャネイロ・パラリンピックの藤井新悟選手を公民館ホールで応援

## 読まれ伝わる議会だよりを目指して 広報委員会 研修報告

10月10日(水) 場所：シェーンパツハ・サポー  
10月11日(木) 場所：東京インタープレイ株式会社

### ◆1日目

町村議会広報研修会では、3氏から講習を受けました。

前田安正氏による「読み手に伝わる文章の書き方」では、主語と述語を分かりやすく対応させることや、主張を前の方に出すことなど、読者に伝えるための具体的な手法を学びました。また、必要以上に性別による区分を行わないことなど最近の傾向を教えてくださいました。

筒井美希氏による「デザインの力でもつと伝わる広報誌に」では、デザインによって読み手に与える印象が違ふことを、デザインの違う2誌を見比べながら説明していただきました。また、タイトル、見出し等のパーツ

にはそれぞれ「らしさ」があることを聞き、不自然なデザインで読者を戸惑わせない工夫をすべきだと思いました。

最後に長岡光弘氏が最優秀賞と優秀賞の2誌について講評を行いました。我々の目標とすべき広報誌だと感じました。

前田氏の講演



### ◆2日目

タブレット端末で利用するソフトウェアを開発・販売している東京インタープレイ(株)を訪問しました。ペーパーレス議会システムのシェアは全国ナンバー1であり、秋田県内の多くの自治体でも採用されています。

議会だよりの編集作業にタブレット端末を使うことで、文章や写真の挿入・置換等が容易になり効率化が図られることが分かりました。時間に余裕が生まれると、レイアウトの精査に注力することができ、多くの方々に読まれ、伝わる議会報に仕上げる事ができるようになります。さらに、データでの送信ができるため省資源化と省力化も実現でき、伝



タブレット端末を使った研修

達ミスを減少させることにもつながります。

前日の研修では視覚に訴えるのも重要であると学びました。タブレット端末を導入するなどして編集方法を変え、魅力的な議会だよりができれば、議会活動もより広く伝えられるようになると思います。

# 12月定例会 請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

◇陳情第20号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員のため国に対し意見書の提出を求める陳情

秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一

〈教育民生常任委員長報告〉出席委員の全会一致で「採択すべきもの」としました。

◇陳情第21号 「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める陳情

秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一

〈教育民生常任委員長報告〉出席委員の全会一致で「採択すべきもの」としました。

◇陳情第22号 看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設のため国に対し意見書を求める陳情書

秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一

〈教育民生常任委員長報告〉審査では「全国一律の最低賃金を設けることについては慎重であるべき」「看護師の賃金が全国統一されたら、地域内における職種間の賃金格差が問題になる」などの意見がありました。採決したところ、採択が2人、趣旨採択が2人となり、委員長採決で「採択すべきもの」としました。

◇陳情第23号 介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を国に求める陳情書

秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳

〈教育民生常任委員長報告〉出席委員の全会一致で「採択すべきもの」としました。

◇陳情第24号 75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを国に求める陳情書

秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳  
全日本年金者組合秋田県本部 執行委員長 大坂谷 邦雄

〈教育民生常任委員長報告〉出席委員の全会一致で「採択すべきもの」としました。

趣旨採択としました

◇陳情第19号 食料の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本的見直しが必要です

生き物共生農業を進める会 代表 今野 茂樹  
美しい八郎湖を次代に残す会 代表 桑原 秀夫  
(有)ライスランド大湯 代表 山田 隆介

〈産業建設常任委員長報告〉審査では「薬剤散布を無理に行う必要はない」「食品の安全という観点から理解はできるが、等級廃止とまでいくものではない」「等級の廃止は、品質の低下や価格の下落を招く」などの意見がありました。採決したところ、趣旨採択が2人、不採択が2人となり、委員長採決で「趣旨採択すべきもの」としました。



## ようこそ美郷町へ

### 福島県小野町議会

10月5日、福島県小野町議会「総務文教常任委員会」の一行8人が、研修のため美郷町議会を訪れました。

研修内容は、企業版ふるさと納税制度についてです。企画財政課職員が(株)龍角散、(株)樹工務店、ナガイレーベン(株)の取り組みについて説明した後、皆で意見交換を行いました。

当町からは副議長と総務常任委員長、産業建設常任委員長が出席しました。



役場・特別会議室で研修

### 青森県三戸町議会

10月5日、青森県三戸町議会「三戸町活性化対策特別委員会」の一行15人が、研修のため美郷町議会を訪れました。

研修内容は、宿泊交流館ワクアスの管理運営についてです。生涯学習課スポーツ振興班職員が整備の状況や利用状況、さらには工事中の佐藤家蔵移築工事の内容について説明した後、皆で意見交換を行いました。

当町からは議長と教育民生常任委員長が出席しました。



ワクアス・会議室での研修風景

### 秋田県議会

10月10日、秋田県議会「総務企画委員会」の一行14人が、県内調査で美郷町を訪れました。

調査のテーマは「内蔵を活用した移住体験施設の整備について」です。宿泊交流館ワクアスの改装には「あきた未来づくり協働プロジェクト交付金(県補助)」など、佐藤章氏生家内蔵の移築には「農山漁村振興交付金(国補助)」を活用しています。

当日は生涯学習課職員が、移住体験や農作業体験者等との交流の場にワクアスが使われていることを説明しました。当町からは町長と議長が出席しました。



ワクアスの宿泊棟を見学

# 読者の声

おたよりをいただき、誠にありがとうございます。  
これまでに寄せられたご意見の一部を掲載いたします。

「みさとの大家族」さんのように若い家族が住みやすい美郷町だと思っています。他市町村と比較しても、色々な面で助成されていると思います。自然に囲まれていて、子育てしていくには、最高の環境だと思います。美郷町の為に議会をよりよいものに・・・と思います。

(50代 女性)

日本のいたるところで、議員にあるまじき行為が問題になり、世間を騒がせております。議員である前に、一人の人間、社会人であることを心に刻んで、日々の議会運営にあたってほしいと願っています。

(70代 女性)

介護保険世代になりますと、医療福祉が一番気になります。良くわかりました。

(60代 女性)

## 第12回 「シリーズ みさとの大家族」

真巳さん(17歳) 真里さん(43歳) 武登さん(16歳) ミル(12歳)



美枝子さん(80歳) 慎太郎さん(11歳) 武彦さん(52歳) 真結さん(8歳)

亀谷医院(野中)ご自宅のリビングにおじゃましました。

食事は朝晩、いつも全員そろってテーブルを囲みます。笑い声が絶えないご家族のお楽しみは、武彦先生の運転するミニバンに乗って出かける旅行だそうです。4人きょうだいの成長に目を細めるお父さんとお母さん、そしてお婆さまでした。  
(取材・鈴木正洋)

## 第8回臨時会(11月19日)

### 小中学校の冷房工事は31年度に

11月19日、第8回臨時会を開催し、報告3件、議案1件の審議を行い、全員賛成で原案を可決しました。

平成30年度美郷町一般会計補正予算第4号は、小中学校の冷房設備工事のための設計委託料です。

歳入・歳出それぞれに905万9千円を追加し、総額117億4,740万2千円としました。

## 傍聴者の声

たくさんの傍聴ありがとうございます。

大変勉強になりました。又、機会を見て傍聴させていただきます。

(6月定例会)

難しい質問内容も、町長の答弁が分かりやすいので理解できます。

(9月定例会)

生活に密着した関心がある質問が良い。町長の答弁は、再質問を除き、答弁書を読み上げているのでしょうか。質問者は前もって具体的に質問内容を通告しているのでしょうか。

(12月定例会)

町長の答弁は素晴らしいと思います。ただ、議員にはわかりやすいでしょうが、一般傍聴者には堅苦しいと思いました。

(12月定例会)



みさと  
議会だより  
第57号  
クイズ  
正解と当選者

### ★クイズ

【問1】美郷中で〇〇〇〇端末を導入 → 【正解】タブレット

【問2】「北のかほりの会」は発足から〇〇年 → 【正解】30

◎クイズ当選者 抽選の結果、次の方々が当選しました。

佐藤 章江様 武藤 憲子様 高橋 千代子様

シリーズ

# キラリ美郷

vol.53



もうすぐ35周年、オリジナル曲も制作

## 菖蒲太鼓保存会



### ? クイズ

問1 「〇〇の志」基金を創設

問2 「住民と議会との懇談会」は  
今回で第〇〇回目

〇の中だけお答えください

#### 応募方法

はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3人の方に粗品を差し上げます。また、議会へのご意見などもお待ちしております。

#### あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10  
美郷町議会事務局 議会だより係

#### 締切日

平成31年3月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。  
傍聴をお待ちしております。

今年で結成34年を迎える菖蒲太鼓保存会の練習におじゃまして、会主の高橋長悦さんに話を聞きました。  
練習は南体育館で週1回行われていきます。近所のご理解のおかげで、思いつきり太鼓を叩くことができます。太鼓演奏は「音楽の格闘技」とも言われるほど全身を使うので、健康作りや、ストレス解消にもなっています。  
会には、大人の会員だけでなく、小学2年生から6年生

17人のメンバーで構成されるジュニアの部があり、佐藤真由美さんの指導を受けて練習に励んでいました。  
来年迎える35周年の節目に演奏する創作太鼓の楽曲作りにも取り組んでいるそうです。「毎週水曜日夕方6時30分より南体育館で練習しています。興味のある方は見学にお越しください」と話していました。

(取材・熊谷隆一)

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)  
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>

【印刷・製本】株式会社アイ・クリエイト

地球環境にやさしい  
ベジタブルインキを  
使用しています。  
VEGETABLE  
OIL INK